

進路だより

群馬県立しらがね特別支援学校

11月号
令和2年11月20日

◆ 中学部の2学期校内就業体験が終了しました。

10月19日から23日の1週間、第1回中学部校内就業体験を実施しました。事前学習として、高等部校内就業体験の見学や、就業体験の意義について学習しました。

今年度は密を避けるため、活動場所を2カ所に分けて実施しました。主に、外部から委託された「スーパー竿ピンチ」の組立、台紙折り、台紙にピンチを挟む作業に取り組みました。作業種を変更することで仕事に集中できるよう、午後は、2グループが交互に農作業にも取り組みました。今年度初めての就業体験で大変だったと思いますが、皆で協力して取り組み、1週間の就業体験をやり遂げました。最終日には、給料が手渡され、嬉しそうでした。今回の成果を3学期就業体験につなげていきます。

また、学部間交流学習として、小学部6年生の児童が就業体験に参加しました。初めての就業体験に緊張する様子もありましたが、中学部の生徒を手本に、大きな声で返事や報告をしていました。



高等部を見学



作業の様子



大きな声で報告



小学部就業体験参加

◆ しらがねデュアル実習で働く力を身に付けています。

近隣の就労継続支援B型事業所「ブルーオーシャン」に出向き、事業所の方々からの支援を受けながら実習を行っています。実習は、主に月曜の午前10時～11時50分で、その間は指示された作業（リネン作業）を中心に行います。生徒は、事業所の方々の話を真剣に聞き、また事業所の方々も丁寧に指導して下さるので、生徒の作業を覚えるスピードがとても速いです。今では、作業途中でも他の仕事を指示されれば、すぐに別の作業に移ることができます。その日の活動を振り返り、次回の実習へと活かすことを繰り返し行うことで、自分の課題を克服し始める生徒もいます。小さな成功体験を積み重ね、自信がつくことを期待して授業を行っています。



ブルーオーシャンでの作業

◆ 校内清掃技能検定に向けて、週に1度練習を行っています。

デュアルグループのもう1つの取組に、校内の清掃作業があります。11月は、机のそうきん掛けを中心に行っており、そうきん掛けの技能検定も開催しました。検定内容は、あいさつの仕方から拭く順番、準備や片付け等、非常に細かく複雑ですが、生徒は真剣に、取り組んでいます。検定のためだけの練習ではなく、日常生活場面でも使えるようにしていきます。



技能検定の練習